



とつか

2022年5月会報 第331号

- 国際会長(IP) Kim Sang-chaе (Korea)
- 2021 主 題 “Y's Men with the World” 「世界とともにワイズメン」
- スローガン “Heal the World with Love & Dignity” 「愛と尊厳で世界を癒そう」
- アジア太平洋地域会長(AP) 大野 勉 (神戸ポート)
- ~ 主 題 “Make a difference beyond the 100th” 「100年を越えて変革しよう」
- スローガン “Be healthy!” 「健康第一！」
- 東日本区理事(RD) 大久保 知宏 (宇都宮)
- 主 題 「私たちは次の世代のために何ができるか？」
- 2022 スローガン 「絆を深める時」 “We are stronger together than we are alone.”
- 湘南・沖縄部部长(DG) 若木 一美 (横浜とつか)
- 主 題 「咲かそう 人の輪～明るく・楽しく・元気よく～」
- 主 題 クラブ会長 若木 一美 会長主題 「咲かそう 人の輪」
- 副会長 吉原 訓・書記 加藤利榮・会計 岡 進・メネット 吉原和子・担当主事 瀬戸俊孝



~~~~~

### 会員ひと言 ☆この頃思う事☆ 吉原 和子



一昨年の今頃、私は乳児園で子供達と楽しい時間を過ごしていました。

YMCAへ行くたびに、入口にある乳児園のかわいい子どもを見ると、なにか関わりを持ちたいと、当時園長の露木さんに「保育士の資格が無い者がなにかお手伝いできることありますか？」と尋ねました。「遊び相手になってください。」と…。私は喜んで通っていました。そんな時期、若い保育士さんが「吉原さんはYMCAとどんな関わりがあるの…？」と聞かれました。ワイズメンズクラブの会員なのと答えると、そんなクラブがあるんですかとYMCAの職員もワイズメンズクラブがある事知らないのだ！…とビックリ…。今期の湘南・沖縄部の部報で、元保育士だった書記の板崎淑子さんの原稿を読んでまったく同感、もっと乳児園・保育園の保護者の皆さんにワイズメンズクラブを知ってもらいたい。

い〜とつか祭バザーでは、保護者のお父さんもカレー作りや販売の協力をしていました。こんな若い力がワイズにもほしい。このままでは、とつかクラブは消滅してしまうのではないかと、YMCAの本体組織にも協力してもらえないか、やはりYMCAに関わりのある人、YMCAを知っている人がクラブを支えてほしい…。

コロナになって子供達とも会えず、体力・気力も失せた後期高齢者のこの頃思うことです。

### ◎今月の聖句◎

律法全体は、「隣人を自分のように愛しなさい」という一句によって全うされるからです。

— ガラテアの信徒への手紙5章14節 —

この聖句、どこかで聞いたような気がしますね、そうです、私たちが会合の都度唱えている「ワイズの信条」の「1.自分を愛するように、隣人を愛そう」と同じ意味ですね。聖句では、その前の節で、「…あなたがたは(中略)この自由を、肉に罪を犯させる機会とせず、愛によって互いに仕えなさい。」と言われ、その愛とはイコール「隣人愛」も指していることがお分かりでしょう。

### 強調月間 百周年記念・RBM・BF

ワイズメンズクラブ国際協会が設立されたのは**百年前の1922年**、その2年前の1920年には、米国オハイオ州トledoのクラブがワイズ初のクラブとして、P. W. Alexander によって設立されている。

次に**RBM, Roll Back Malaria Partnership**、国連が提唱するマラリア撲滅支援活動で、かつて5年間にわたったHIV/AIDSの後を受けて設定されたワイズ活動です。@800円以上の要請がなされています。

もう一つ**BF, Brotherhood Fund**、以前は使用済み切手を集め、換金したが、市場性から現在は専ら現金による拠出に変わった。

| 会員数 | 4月の会合 |   |     | 出席率 | ファンド | B | F   | B   | F   | CS・TOF・ASF | B A P Y | ロ   | バ   |
|-----|-------|---|-----|-----|------|---|-----|-----|-----|------------|---------|-----|-----|
| メ   | ン     | メ | ン   | 10  | 92%  | 他 | (円) | (g) | (円) | (円)        | (円)     | (円) | (円) |
| メ   | 8     | メ | ネット | 1   |      | 前 |     |     | 0   | 0          | 0       | 0   | 0   |
|     |       | ゲ | スト  | 11  |      | 当 |     |     | 0   | 0          | 0       | 0   | 0   |
| 計   | 19    | 合 | 計   | 22  |      | 累 |     |     | 0   | 0          | 0       | 0   | 0   |

★強い義務感を持つと 義務はすべての権利に伴う★

## 会長報告



### ☆ クリーンプロジェクトと第1例会 ☆

若木 一美

日時：2022年4月2日(土)14:00~16:30  
会場：①YMCA・同保育園周辺：約1,1km  
② 例会・入・退会式：404号室  
出席者：①YMCA リーダー・スタッフ 11名  
②ワイズメン・メネット 11名

今後の活動については、それぞれの日程、また恒例の‘たけのこ’に関しては、今後調整しながら計画するとの予定で、瀬戸担当主事が調整役となりました。

当面、今期6月までは、コロナの感染状況を見ながらムリのない例会運営等を計画することで一致し、定刻に閉会点鐘、一同記念撮影に収まり、解散しました。



Week for Waste「ゴミのための週」、国際協会ではワイズと地域社会を結びつけるCS事業として、4月2日に世界のワイズ2万5千人が行動するキャンペーンを行いました。わがとつかクラブも久しぶりの例会をこの事業に取り込み、湘南とつかYMCAリーダーの若い人たちと新旧館長や職員ら総勢18人で実施しました。右の写真のように、みんなが一つの事に取り組み・行動する、街中も美しくなると同時に参加者も美しい笑顔で…と、すてきな体験をしたひと時となりました。みなさまお疲れ様でした。

およそ1時間のクリーンウォークの後、15時過ぎから久しぶりでの対面による例会が開かれました。

協議事項として来期の役員選出が提案され、全員一致で吉原副会長を第29代会長に決定しました。他の役員は全員留任することになりました。引き続き、入・退会式に移り、山中奈子館長退職による退会、新館長薩摩藤太さんの就任による入会式が爽やかに行われました。(入会の弁：4頁)

報告事項では、ウクライナ募金と国際・地域協力募金が地下鉄戸塚駅付近で2日間にわたり行われ、予想を超える成果が有った旨報告され、市民の関心の高さが伺えました。

### ☆ 3年ぶりに竹の子例会が… ☆

若木 一美



前日の雨で開催が危ぶまれていましたが、当日の4月16日は初夏を思わせるような快晴に恵まれ、館のアルジの日ごろの行いと、参加者の心からの祈りが天に通じたようで、3年ぶりの竹の子例会はつつがなく清々と開催することができました。

午前中は、湘南とつかYMCAのリーダーの皆さんとの3回目のコラボ企画、筍の掘り方と料理の仕方を伝え聞く体験会となりました。さすが若い人たち、呑みこみも早く、掘る力はおじさん達に負けていません…が、掘る要領となると、おじさんの方が一枚上をいっておりました。

竹藪の中で体験をし、思うように収穫もありました。

お疲れ様でした。

引き続き、13時から吉原邸のお庭でランチタイム、人数は少ない目でしたが、3回続いたリーダーたちとの交流事業の今後の進め方やクラブ設立30周年を迎えるに当たって、30歳と年齢を重ねた私たちに

出来る活動の範囲や内容、部や区との連携の在り方や方法など、室内の会合では語られない意見が飛び交いました。

終わり近く、加藤さんから、初めて語られた単語に一同、大爆笑…。紙上で記せないのが大変残念ですが、そうこうするうちに予定された時刻となり、爆笑の余韻に胸を膨らませ、お開きとなりました。

吉原さん、今年も大変お世話になりました。有り難うございました。



**【特別寄稿】****“東日本区大会から 20 年が…”**

(元) 沖縄那覇クラブ会員 大森 節子

2002年6月、東日本区大会が沖縄で開催されました。あれから今年でちょうど20年になります。本島恩納村にあるリザンシーパークホテル谷茶ベイをメイン会場に、沖縄サミットが開催された名護市の万国津梁館でも区役員会やメネット会など、いくつかの会議が開かれました。大会参加者は、600名近くに上りました。

その大会の準備・打合せのために、当時、理事でいらした小原武夫さんを始め、加藤利榮さん、小川圭一さんなどの皆さんに何度となくご来沖いただきました。壺屋のYMCAの2階広間では、大会の全体進行の司会役を仰せつかった沖縄しいーさあークラブの妹尾正和さんとYMCAの当時のスタッフの上間かな恵さん（現・佐喜真美術館学芸員）のコンビが、何回も皆さんの前で、その手順や発声練習をしていたのが、つい昨日の事のように思い出されます。

3日間にわたった大会が終って、参加された皆様から、楽しい・良い大会でしたね…とおっしゃっていただきました。オキナワの人たちは、大会が決まってもなかなか動こうとしないので、大変ご苦労されたことと思います。

当時、沖縄には沖縄那覇クラブと沖縄しいーさあークラブの二つのクラブがあり、区大会などにはなかなか参加する機会のないメンバーもありましたから、この沖縄大会はいい経験になったと思います。その後しいーさあークラブは解散し、2009年に設立された沖縄ワイズメンズクラブと設立57年になる沖縄那覇クラブも、大変残念なことに、昨年中に解散になりました。今、那覇クラブの何人かは沖縄YMCAのお手伝いをしている…と伺っております。

これまで、沖縄那覇クラブでは、DBCの東京世田谷クラブを始め湘南・沖縄部の皆様には大変お世話になりました。YMCA幼稚園が使っていた赤バスが古くなったからと寄附を募り、420万円のバスが皆様のお陰で購入できました。今、このバスは黄色に衣替えして、相愛幼稚園の通園バスとして那覇の街なかを走っております。時に秋ともなれば、りんごや梨が贈られたり、美味しく頂いております。ご恩に感謝する機会でもあります。

ある時、何度かいらして頂いている加藤様に、「…今日で何回目ぐらいかしら…。」とお聞きしたら、『35回目ぐらいかな…。』と言われ、「いや、38回目だと思います…。」と遣り取りした記憶があります。

皆様には、お世話になったお礼を申し上げることもせずに解散となり、心苦しく思う日々です。

私も、沖縄那覇クラブの再建を心から願う一人です。

**ウクライナ緊急支援を…!**

先だって、若木部長から各クラブ会長あて、以下の“呼び掛け”がありましたので ご協力を宜しく…。

『市内で暮らすウクライナの娘さん（6歳）に、日本語の絵本・スケッチブック・絵具・色鉛筆・粘土を…』

**【想い出】****“忘れ得ぬオキナワ…”**

加藤 利榮

私にとっては思い出に残る大事なお話なんですが、皆さんからは、また始まったか…と…？、乞う、ご一読を…。

思えば今から35年前の1987年10月、当時、横浜クラブの菅沼義久さんと初めて現地を訪れたきっかけは、横浜の子クラブでもあった那覇クラブの会員数が目減りし、87年4月には会長の伊舎堂守雄君から区宛てに「休会届」が出されて活動を停止、でも沖縄独特の月1回の「模合(モアイ)」を開きながら何とか『かまぬめローカルクラブ』として存続していたころの話です。そして、地元メンバーと区の並々ならぬ努力の甲斐あって、3年後の90年4月、9名が復帰登録し「理事預り」が解かれ、その2か月後に札幌で開かれた日本区大会には、伊舎堂会長ら沖縄那覇クラブから4名が参加、全国のワイズメンと交わりを深めました。そして、区復帰から12年後の2002年には、左の欄に大森さんも書いておられるように、地元沖縄で東日本区大会をホストするまでになりました。

さて、ご存知のように那覇クラブは、昨年6月、玉城哲人会長名で、湘南・沖縄部古田部長宛て解散届が提出され、また、2009年に設立された沖縄クラブも昨年末で東日本区を離れ、現在では、皆さまご存知のように、当部は単に「湘南部」となっているのが実情です。

そこで、何とかして沖縄にワイズを…ということから、今、チエをしばらく・出し合っている処ですが、私なりに思うことは、今の那覇クラブの状況が35年前の休会パターンと似ている感じがしてなりません。“ああ また例のヤマイが出たか…”…とと思っていた処へ、那覇クラブの元会員のH氏からの今年頂いた年賀状によれば、「…現在、月1回模合を兼ねて集まり…。」と書かれ、何人かの懐かしい名前まで…。「これだ!…」、コロナの状況を見ながら次の一手を…と考える今日この頃です。その折は宜しく…。

**レザン通信****☆「移動ポケット」を制作☆**

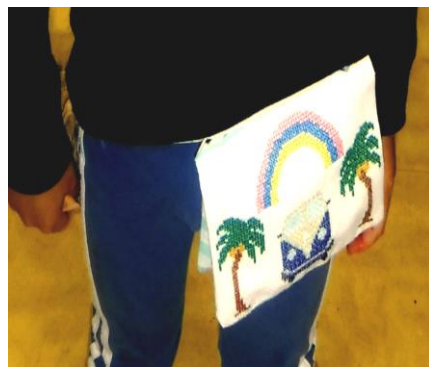
横浜YMCAワークサポートセンターレザン 相馬 良文



4月16日、YMCA山手台センターに併設されている「アルク保育園」で卒園式が行われました。新型コロナウイルスの影響で延期されての実施でした。レザンでは、卒園児へのプレゼントとして「移動ポケット」（ハンカチやティッシュを入れるケース）を制作しました。（写真）

ようやくお渡しできた移動ポケットは、毎日、子どもたちに使っていただいております。

4月から高校を卒業したばかりのメンバーが加わり、元気に活動が始まりました。



YMCA 便り ☆ 第1回横浜YMCA コースリーダー感謝会

開催報告 ☆ 担当主事 瀬戸 俊孝

3月25日(金) 10:30~12:00、横浜中央YMCA 9階チャペル・オンラインのハイブリッド開催で55名が参加しました。

横浜YMCAでは、健康教育・語学教育・アフタースクール・保育・オルタナティブ事業など様々な地域活動など、たくさんのコースリーダーが活動を支えています。2021年度の活動をふり返るとともに、コースリーダーに感謝の気持ちを含め「横浜YMCA コースリーダー感謝会」が開催されました。

湘南とつかYMCAからは、リーダーOGの大島宏美さん(元運営委員会メンバー・佐賀県在住)からビデオメッセージも寄せられました。また、湘南とつかYMCAのリーダーからは、活動報告をしました。特にSDGsについて報告され、今後の継続・発展が期待されます。

会の終わりに佐竹総主事から、「コースリーダー皆様の1年間のお働きに感謝し、YMCAでの経験を新しい場所で自己表現してほしい。今後は維持会員として、ワイズメンズクラブなど人生の先輩の中で自分を磨き・活かす良い機会です。本日は聖書を贈らせていただきますが、YMCAが大切にしているキリストの教えがギュッと詰まっています。みんなが集まる処に、そしてみんなの裡に神様がいます。仲間と一語に行う中で希望や目標が見出されます。リーダー活動も持続可能となるよう願っております。」とメッセージが述べられ、一同、記念撮影に納まり、定刻に散会しました。



(写真は横浜YMCA広報室のご提供による。)

☆ 今月の歳時記から ☆

「筍 たけのこ」と「麦秋 ばくしゅう」

「筍」「竹の子」とも書く。食用になる竹は、一般に「孟宗竹」「淡竹(はちく)」「苦竹(まだけ)」「人面竹」などがある。晩春から初夏にかけ、地面に僅かに頭を出した頃、掘って食べる。風味満点、多くの皆さんは既に吉原邸でご体験済み…?

竹の子や幼きときの絵のすさび 芭蕉  
筍の目黒の美人ありやなしや 子規

次に「麦秋」、麦の秋ともいう。麦の熟したこと、またその頃の季節にもいう。初夏の頃(立春後120日前後)が麦刈りの時期とされる。熟した麦穂をみると、あたかも秋の収穫の時期みたいなのでこの名がある。

麦秋の雨のやうなる夜風かな 冬 二  
麦秋や馬いななきてあとさびし 麦 生



～入会の弁～ 湘南とつかYMCA館長 薩摩 藤太

本年4月より湘南とつかYMCA館長として着任いたしました薩摩と申します。8年ぶりに戸塚に戻って参りましたが、昨今の新型コロナウィルスの影響を受け、これまでワイズの皆さん、

地域の皆さんと共に実施してきた取組みの多くが見送られていると伺っております。2年間停まっていたものを再び動かすこと、またWith コロナ時代に即した新たな活動を生み出すこと、いずれも時間とエネルギーを要することと思っております。同時にこれまでの経験・経緯にとらわれない柔軟な視点と発想でこの地域の課題に向き合っていく必要を感じます。

改めて、心身ともに健康を保ちながら皆さまの活動の輪に加えていただきたいと思います。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

Happy Birthday

柴原和可さん 5月6日

若葉さん 29日

☆ 功刀弘先生著「良い眠りが認知症を予防する」から ☆

加藤 利榮

これまで功刀先生(甲府21クラブ)のご助言を頂きながら、私たちは「いわゆる「良い眠り」とは…」など4回にわたり「良い眠り」について学びました。そして今回は、…。

5) 良い生活習慣を保つには…

前回には、「いわゆる「良い眠りとは…」」について考えましたが、その中に「生活習慣」という単語が5か所も出てきました。

そこで、この「生活習慣」というコトバについて、先生のご著書から引用させていただき、今回で一応このシリーズは終わりにしたいと思います。

① 前号で、日本医師会が「望ましい生活習慣」として七つの項目(適正な睡眠・禁煙・適正体重・適正飲酒・運動・正しい朝食・無間食)を掲げており、その筆頭に「適正な睡眠」が挙げられています。

② 健康者の日常生活においては、規則的な睡眠をとる生活習慣が最も大切で、このことは、精神疾患以外の四大疾患(脳卒中・癌・急性心筋梗塞・糖尿病)の予防とも密接に関係しています。

③ 上に掲げた七つの良い生活習慣を守るには、不断の努力が必要です。

すなわち、深睡眠に裏付けられた健全な「意識」を持っていなければなりません。これが、私(功刀先生)の思いです。

— 功刀先生からのご助言 —

「私は日課として起床時の体重と前日の歩数を毎朝20年間記録しています。歩数が少ないときは夕方に移します。今ではそれが楽しみとなっています。」

《後記》

四月のクリーン例会から 今月はTOF例会に…。

(T/K)